

たんほほ

NO 111
 H 8年9月1日
 一発行一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100

01157

理事長 田中 稔

先頃、夏季帰宅訓練の前日、夕立カミナリを心配しながら夏祭りを楽しみました。園生、保護者、職員等多数参加しました。

バーベキュー、カラオケ、ビンゴゲーム、ベル演奏等、皆で盛り上がりました。バーベキューは今世間を騒がせている01157の事もあり新鮮なものを手配いただき、十分火をとうして食べていただきました。幸い今日まで下痢等はないようです。

この夏祭りに出しましたオニギリ作りを手伝っていただいた方々から、「ここはハエが多いですね」という声を聞きました。私も時々夕食を園で食べますがハエはおります。

元々、三気の里は農業地区のド真ん中にあります。農家の中には牛や豚を飼っておられるところも

あります。ハエがいるのは当たり前前の事です。私たちが子供の頃、食卓にはハエネットがありました。この頃の町中のマンションで育った子の中には、ハエを不思議そうに見ている子がいます。

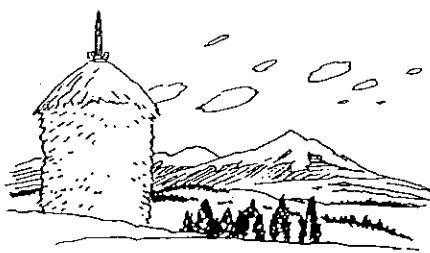
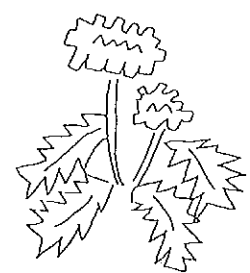
先の01157についても「病原性大腸菌」ということになっていきます。大腸菌自体は私たちの生活環境の中でポピュラーに見られる細菌です。細菌の中には私たちの役に立っているもの、必要なもの、無害なものの方が圧倒的に多いのです。細菌のごく一部が私たちに悪さをする「病原性」のものなのです。

私たち人間は、太古の昔より、あらゆる生命の生命サイクルの一部として生きて来ました。ハエもゴキブリもダニもカビも大腸菌も昔から私たちと共に生きてきました。共存してきたし、共存しなければ私たち人間も生きていけない

のです。私たち人間以外は殺してしまえというのは人間の思い上がりです。最近のマスコミの異常な反応ぶりには、こういう視点が欠落しています。

私たち人間が、手を洗い、食べ物洗い、よく火をとうして、自分で注意しながら、ハエとも大腸菌とも仲良くしながら生きていきたいものです。

私たちが人間は、太古の昔より、あらゆる生命の生命サイクルの一部として生きて来ました。ハエもゴキブリもダニもカビも大腸菌も昔から私たちと共に生きてきました。共存してきたし、共存しなければ私たち人間も生きていけない



▽先日、ふれあいキャンプに一部園生・スタッフと参加してきました。キャンプファイヤーの火を囲み夜空を焦がす炎を眺め、多忙な夏の軌跡を辿っていた。

▽夏祭り、親御さんと一緒にバーベキュー大会。食べ物以外は、長い休みの事に心馳てた顔が多苦、終わるが早い、蜘蛛の子を散らすように帰って行った。

▽療育キャンプ。一年に一度、もっとも初心に帰れる日。初めて三気の里の園生と出会ったあの日を思いだし、明日からのエネルギーを補充する日。体験入所するトレーニー達の示す予測出来ない反応に困惑しながらも上回る速度で対応しなければならぬ。そんなスタッフの技量を試される日でもある。私は、疲労困憊ながらも鞍岳空眺める風景が好きだ。広大な自然の風景と達成感・充実感はこの上もない。

▽長年の宍岐旅行、レクがきっかけで始めたキャンプ。美しい海は今年も交らずに会った。自分自身のご褒美である。

▽帰園日。戻る彼等の姿を見ると、満喫した人や退屈だった人や物足りなかった人の様子が伝わってくる。夏バテ気味の心も体も、気分一新。秋に向かって前進である。

▽長い夏が炎とともに空の彼方に過ぎた。



1 班 - 夏の思い (重い) 出

8月3日夏まつりが終わると、夏季帰宅訓練のスタートだった。皆「さようなら」と手を振るのもどかしそうに、そそくさと家路についた。

作業棟を見渡すと、主の居ない空間はととても広々と見えた。普段ならばうずたかく積まれた製品の山の中で埋もれるように作業する、パッキンチームの仲間も製品も無い。しばしお休みである。再開までほんのちょっぴり不安が残るのは、私だけだろうか。

みんなよく働いてくれた。たくさん遊びもしたが、叱られながらも毎日こつこつ作業していた姿がととても雄々しく見えた。最近イライラしている時は作業棟に移動し、自分の道具を準備すると落ち着くとか、でも、マイクロバスやワゴンが玄関にあるとすっかり乗り込む姿もよく見かけます。

8月18日、ぞくぞくと帰園するみんな。元気な顔と少々夏の休みの思い (重い) 出を身につけて戻って来ました。思い出はそのままに、重いの方の方はスリムにしたいと、普段のペースに戻しつつ、スリムなスタイルを目指しています。陰で隠れて、だぶつく脂肪をつまんでいるかしまし娘(?)の3人トリオは、別メニューを用意しましょうね。スリムなお兄さんより。

追伸、夏最後のレクリエーションは大好きなプールでした。秋も頑張るぞ!

坂井

2 班 B - それぞれの夏休み

夏期帰宅訓練も終わり、2班Bの仲間13名も元気な笑顔で帰って来ました。心身共に一まわり大きくなった人もいるようだけど、気のせいかな?

みんなのいない三気の里やネット班作業棟は妙に広く寂しい感じで「今ごろみんな何しているんだろう。早く会いたいねえ」と職員同志つぶやいていたものです。ところが、わたしたちの感傷的な気持ちをよそに、当の本人達はそれぞれに“夏休み”をしっかりとEnjoyしてきたようで、色々なエピソードを耳にしました。プールや海、遊園地等にお出掛けしたという話のほかに、今回は家のお手伝いを頑張った人の話が目立ちました。お父さんについて毎日ビールの箱詰めと配達を手伝った人、お風呂場をピカピカに磨き上げた人、茶わん洗いを責任持ってやった人等あげるときりがなく、みんなの頑張りには驚きです。

過ごし方は皆様々でしたが、とにかく健康に過ごせて何よりの夏休みでした。

古田

4 班 - 新鮮な野菜作り

夏休みが終わり、三気の里にはいつもの活気が戻りました。(夏期帰宅訓練中が嘘のように…)皆さん、夏休みはいかがでしたか。ところで私事で恐縮ですが、夏休みに福岡ドームへ野球観戦に行ってきました。ドーム内の広さや応援だの歓声と、テレビでは味わえない興奮と感動を思う存分味わってきました。この迫力を三気の里のみんなにも味わってもらいたいと思い、書かせてもらいました。近いうちにみんなで行けたらいいですね。

また、作業面においては夏休み明けてからも引きつずき、草取り中心の作業を行っています。太陽の日差しが弱くなり、汗をかく量も少なくなりましたが、作業が終わってからの冷たい麦茶はまだまだおいしく、乾きをいやしてくれます。農耕班には休みはありません。少しずつ、少しずつ、急がずゆっくりと草取りに専念します。皆様に新鮮でおいしい野菜を食べて頂くために…。今は茄子・ピーマンが旬です。やわらかく、大変おいしいです。ぜひ、御賞味ください。

満原

2班A - ひまわりのひとこま Part. 1

“ひまわりグループ”にとって、初めてのこの夏。なんといってもクーラーの効いた新築の作業棟でのネット作業は快適そのものです。作業といっても、みんなにとっては楽しみな日課の一つになっているようです。それは、ひまわりグループの作業風景を一目見て頂けば、いかに楽しそうかすぐに分かってもらえるのですが…。見て頂けないのが残念。ここでエピソードのほんの一こまを紹介しましょう。

密やかな元気者の揃った我がグループ。熱心な余りつつい仲間への言葉が荒くなり、口げんかの始まるルーさんと有働さん。その間に座る上田さんのタイミングのいい「まあまあ、よかですたい。」…。思わず次に出かかった言葉を飲む2人でした。

昭子ちゃんの成長ぶりは職員も驚いています。今や押しも押されぬ、ひまわり代表のお使い係です。ミニホワイトボードにお使いの内容を書いて(例、袋を下さい)昭子ちゃんに渡すとサッサと靴を履き、ボードを持って2班Bの作業棟へ向かい、ドアを開け、ボードを見せま。そしてお使いのものを受け取り“ひまわり”に戻って来ます。自信に満ちた顔で。その様子を見守る職員の目にはうっすらと光るものが…(ウルウル)

この夏、実り多い夏となりました。“ひまわりグループ”も又、新しい季節を迎えようとしています。秋、冬…と何かやってくれそうな予感がします。 高野

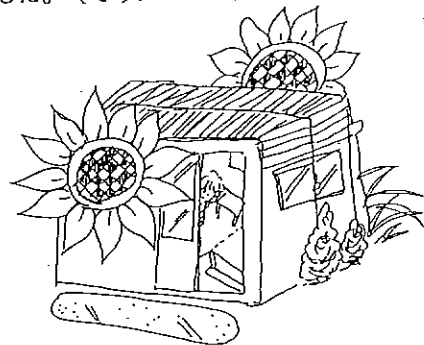
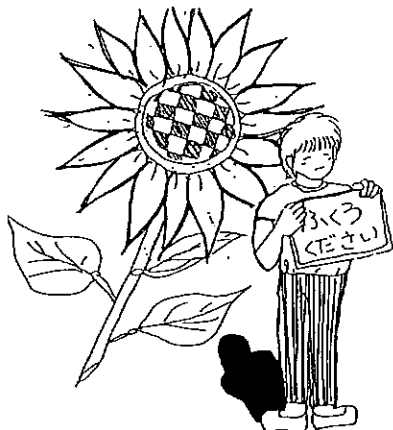
3班 - 夏の思い出

木工班の夏は、園芸班と合同の宿泊レクリエーションで大分のマリンカルチャーセンターを(2泊3日)利用することにしました。

1日目、台風の影響で波が高く、予定していたグラスボードに乗ることが出来ず、水中探検は出来ませんでした。その代わりに、センター内の施設を見学しました。海洋博物館や水族館では、水族館の魚にえさをやって楽しむ人もいれば、散歩をするみたいに歩いて行く人もいたといった感じでしたが、皆表情が生き生きしていました。

2日目、100%の海水プールで泳ぎました。園芸班の園生が怖がって中に入れなのを尻目に、木工班は皆プールの中でボートや浮輪に捕まって歩いたり、潜ったりして過ごせました。その後プラネタリウムでのんびりして、夜はカラオケ付きの大宴会、花火も景気よく打ち上げて楽しみました。

3日目、楽しかった宿泊レクが終わりました。今回昼食は、自分で選べる人は選んで、グループで食べましたが、皆行儀よく食事出来ることにびっくりでした。予算もたっぷりだったので、たくさんの量を食べることが出来て満足そうな顔を見せてくれました。(そうだった!!ダイエットを忘れていた…。食べた量だけ運動すればいいよね、みんな。) 高橋



5 班 - 思い、出の旅

園芸班は7月30日からの2泊3日の日程で3班と合同で大分県のマリンカルチャーセンターへ宿泊レクに出掛けました。皆が日頃頑張ってくれているお陰か天候には恵まれて、100m×25mという大きなプールでの水遊びや夕食後の花火大会など、思い切り楽しく過ごせたようです。又、今回は初めて全員でプラネタリウムを見ましたが、暗闇を嫌がる人がいるのではないかとという職員心配をよそに皆静かに見ている事が出来ました。(中にはリラックスし過ぎてイビキをかいて眠り込む人もいたくらいです。)波が高くグラスボードに乗れなかったのは残念ですが、代わりに風連鍾乳洞を見学して一時の涼を感じる事も出来ましたし、夏休み前に充分エネルギーの補給ができたようです。

夏休みが終われば伸びた草とのバトルが待っています。暑い中大変ですが次のレクを楽しみに、皆で頑張りましょう。

療育有様記

指導員 木下 昭二

わたしが三気の里に就職して10回目の夏を迎える程の歳月が流れました。その10年の中で園の内外を含め、多くの自閉症(という診断名≠自閉的傾向、自閉性障害、発達遅滞、広汎性発達障害等を含む)と呼ばれる人達とかかわって来ました。その一人一人を見て、あるいは指導して行く中で、「この人は、幼少時期にどういった育て方をされたのだろう」とか、もっと細かく言えば「この問題行動はいつ頃どうやって身についたのだろう。又はどうして小さいころに消失しなかったのだろう」と考えさせられることがあります。その例えとしていくつかを挙げてみると、好き嫌いが極端に激しかったり、私たちが見て意味のない紙ちぎりであったり、5〜6歳を過ぎても指しゃぶりが見られたり、散髪やつめ切り耳かきをさせてくれなかったり、排便の後始末ができなかったり等沢山あります。両親としては「育てるうえで特に困らないから」として見過ごして来たことでも、大きくなって来てか

らもその行動を続けていたのでは、おかしい、恥ずかしいと言わざる終えないことも出て来ます。前に挙げた例で話すと好き嫌いや指しゃぶりは「お菓子ばかり食べて野菜は食べないが、いつかは食べるようになるだろう」と思い続けて20年近く経っても、やっぱり食べません。」と、お菓子で太った我が子を横に話されるお母さんや、「眠るときに指をしゃぶっていると落ちて眠るので、ついいつまでも止めずにいる」と、やはり指をしゃぶっている10代の子を見ながら話される両親。「この子は指のしゃぶりがすぎで上下のあごの形成がうまく行かず、噛み合わせがうまくできませんでした。」また、他の例も同様で、「嫌がるし、無理強いすると危険なので、未だに耳かきができません。」と、話される方。不衛生と言うだけでなく耳の聞こえにも影響して来ます。紙(チラシ)破りも、将来牛乳パック等を利用した紙漉きでもしように思っている人でなければ、最初

はチラシや新聞で済んでいたとしてもそのうち家族や兄弟姉妹の大切なものに及んだりして、それを止められてパニックになるケースも見聞きして来ました。三気の里では、いろいろな問題行動と言われる行為をもった人達がいいますが、比較的新しく表出して来た行為やこだわりのほうが止めやすく、また止めるばかりではなく正の(良い)行為に変えて行きやすい様に思います。(三気の里ではこだわりを逆手に利用すると言っています。)しかし、小さいときに身についたこのこだわりというのなかなかとれず、また他のことへの置き換えも非常に難しく感じます。厳しい言い方ですが、この人たちに早すぎるのでは?や、いつか〇〇でできるようになるのでは?と、楽観視せず積極的に関わって、少しずつでも良い方向に導いてもらいたいと思います。特に自閉症児の親御さんで、兄弟児の年齢の近い方は抵抗があられるかも知れませんが、本人が大きくなったらときに得を考えると考えて取って早いうちからいろいろなことに取り組んでください。そして悩んだり、壁にぶちあたったときは三気の家、三気の里に相談ください。微力ながら力になります。より良い方向を探して行きましょう。

我が家の夏休み

松井美津子

平成8年6月より三気の里に入所致しました。本当によかったと思います。

今年の夏休みに家を転居したこともあり、寧則の事は心配でしたが、環境にもすぐに慣れ、今までで最高に落ち着いた夏休みを送ることができました。ほとんど奇声を上げることもなく、パニックも全然起こしませんでした。思えば3歳のとき、知恵遅れと診断されて以来20年の月日が過ぎました。たくさんの人に迷惑をかけ、その反面で励まされ、お世話になって今日の我が家があります。わたしが一番精神的に参って絶望しているとき、「この子供さんに心からお陰で人間として成長できた」、と思えるときが来る。といってくれた人がいますが、今それが少しずつ分かって来ました。世の中の差別や、弱い人の痛みを少しでも理解できるようになったのは寧則のお陰です。最高の夏休みでした。



療育キャンプ

指導員 緒方 真紀

去る8月5〜8日までの3泊4日三気の里で実践キャンプが行われました。

今回私は初めてのキャンプでまた初めての担当をもつということに緊張と不安で一杯でした。午前中は時間が進むのが遅いように感じていましたが正午をすぎるとなぜか時間の経つのが早く感じられ、そう思っているうちにトレニーが来園し、自分の顔付きも午前中にあった笑顔が徐々に緊張の顔になって来ているの言うまでもありません。2日目になると緊張もほぐれ、トレニーとも沢山コミュニケーションもとれるようになりました。また動作法もはじめたが、うまくできなくトレニーも納得いかない様子。3日目になるとお互い努力する様子も見られるようになりました。3泊4日ですまくトレニーに動作法また特別訓練ができませんでしたが、動作法以外では信頼関係を作ることができました。

ました。

来年は今年以上に動作法等を勉強し頑張りたいと思います。最後に、職員の方皆さんお疲れ様でした。来年も頑張りますよう。

夏祭り

吉田 真紀



去る8月3日、平成8年度三気の里夏祭りが行われました。今年には保護者の方も参加して下さり内容も盛りだくさんでした。

バーベキューでは、我先にとお肉を争い(?)お腹の満足したころカラオケ大会で各班の個性を出し切り大フィーバー。ビンゴゲームでは、とれたての野菜&果物をプレゼント。フィナーレは夕ぐれの中、音楽クラブによるハンドベル演奏。ベルの音色はオレンジにくれゆく空と虫の声にとけて素敵にハーモニーとなっていました。よく食べ、よく歌い、よく笑い一人ひとりが楽しめたように思います。準備、片付け等お疲れさまでした。

今回はバーベキューに初挑戦とい

今夏当り岩臼粟米一中

8月3日に夏祭りがありました。今回はバーベキューに初挑戦とい

うことで、厨房は野菜の切り込みやおにぎり作りに大忙しでした。

なんとか時間内に準備ができ、いよいよバーベキューが始まりました。みんな焼けるのが待ちどろしく鉄板のまわりに集まって来ました。高木君、功一君はお皿を前に出し、「ください」のポーズをしていきます。お肉や野菜を入れると嬉しそうに食べてくれます。

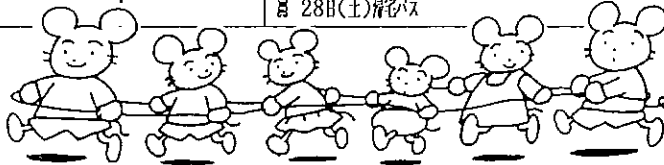
初めてのバーベキューは大成功に終わりました。 上村 栄養の話

今回は里芋の話です。成分としては水分約80%で、残りはほとんど炭水化物です。特有のぬめりにはムチンが含まれます。このムチンとは、タンパク質と糖質が結合した消化酵素を含む物質で、体内で解毒作用を持つグルクロン酸という栄養素になります。これには、胃や腸の潰瘍を防いだり、老化を防ぐ唾液腺ホルモンの分泌を促進する働きがあるんですよ。とは言っても、皮をむく時のかゆさがイヤですよネ。手に塩や酢をつけておくと幾分か防げますし、もしかゆくなったら手を酢水につけるとおさまるんですよ。一度試してみてください。

前田

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1	2	3	4	5	6	7	
		金森くんの誕生日(28)					
8	9	10	11	12	13	14	保護者会・除草作業 真一様君の誕生日(23)
15	16	17	18	19	20	21	
敬老の日		健二くんの誕生日(20)				奈成くんの誕生日(23)	
	長暑休暇						
22	23	24	25	26	27	28	
三気の里・家合同運動会		運動感謝の日			アノハばば編み物日	岸谷バス	
				英樹くんの誕生日(21)			
29	30	31	白 金森くん、真一様くん、健二くん、奈成くん、英樹くん誕生日おめでとう! 黄 14日(土)保護者会 22日(日)三気の里・家合同運動会 青 28日(土)岸谷バス				



ボランティアア通信

お盆を過ぎたころから暑さも和らぎ、随分と過ごしやすくなり、これから食の進む秋を迎えますが、いかがお過ごしでしょうか？

この夏、ワークキャンプ・各学校の実習ということで多くの学生さんが来園されました。環境の変化に弱い人達ですから、見慣れない人の存在や言葉に困惑した人も多く、バタバタとした忙しい夏だったように思います。そうした中で学生さんたちの気を引こう、目を引こうと自分をアピールする人、若い女性・男性の姿に顔が緩みっぱなしの人がいたり、刺激の少ない普段の生活の中での変化を楽しんだ人もまた多かったようです。

三気の里では「普通に」と言うことを大事にしていますが、そうしていても暗黙のルール(特別)みたいなものがあります。その暗黙のルールを持たない人が三気の里と言う閉鎖的社会で、あたりまえの事をあたりまえの事として動き話してくれる事が貴重な経験となります。みなさんも三気の里に遊びに来て下さい。お待ちしております。

▽来る9月22日(日)三気の家・三気の里の合同運動会を三気の里のグラウンドで行います。お手伝いをして下さる方は満原・佐藤・石丸にご連絡下さい。

（ボランティアありがとう）
庄住け花 西村栄子 散髪 松尾博美
清田純一 坂本シマコ 泉美智代
夏祭り 藤井佳保里
Wk キャンプ 上村義輝・合志明
大塚修一・田頭慎二・上野ゆかり
今村舞子 合志絵美・川崎梨加
西本恵子 藤原真希・畑本香織
村山亜紀・江原悟郎（敬称略）
ふれあいキャンプ

緒方 真紀

8月22〜23日、大津町福祉協議会主催でふれあいキャンプが行われました。三気の里からは神沢さん、伊石さん、坂本さん、橋村君、富田さんの5名で参加しました。

晴天にも恵まれ、楽しいキャンプとなりました。またキャンプファイヤーのときには、橋村君が自慢の喉声を披露し、みんなから盛大な拍手を受け、最初はちよっぴり恥ずかしがっていた橋村君も最後まで上手に歌うことができました。来年はまた違ったメンバーでこのキャンプに参加できたらと思います。